

# 一般質問

本定例会での一般質問は、9月4日から6日までの3日間行われ、15名の議員が、39項目について質問しました。その質問と答弁の要旨をお知らせします。

**一般質問とは？**  
 議員が市の仕事全般について、市長などに報告や説明を求めたり、将来の方針等について質問することをいいます。  
 一般質問は、各定例会の本会議で行われます。

聞いてみたいな、こんなこと

清水 晃  
 議員

## 協働の理念とは

行政と対等な立場で連携・協力する



協働のまちづくりスローガン

**問** 行政と市民活動との協働のあり方について  
 ① 協働の理念とは。  
 ② 協働を実現していく相手とは。  
 ③ 団体、グループとの協

働と町内会・自治会、市民活動団体、企業との協働の必要性と効果は。  
 ④ 取り組み形態とその件数は。

**企画政策部長**

①② 町内会・自治会などの各種団体、ボランティア団体などの市民活動団体及び企業などが協働の相手となり、市民ニーズや地域課題に対応するため、行政と対等な立場で、連携・協力し、まちづくりの発展や公共サービスの向上につなげていくことである。

③ 多様化する市民ニーズに対応するためにも必要であり、行政だけでは成し遂げるのでできない成果を得るものと考えている。

④ 委託、アダプト制度、ボランティア参加、組織構築・運営、共催、意見交換、政策提言、実行委員会、補助・助成・交付、後援等で延べ212件となっている。

他に五日市地域の活性化、市民の生活道路や、通学路、男女共同参画社会の構築と「仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）」の推進について質問した。

田中 千代子  
議員

## 野良猫を増やさないためには 注意のチラシを配布

**問** 飼い主のいない猫（野良猫）対策について  
野良猫の対応に苦慮しているとの声がある一方、市民ボランティアで野良猫を増やさない取り組みをしている方がいる。ボランティアの方々と市との協働の取り組みが必要と考え以下に伺う。



市内で見られる野良猫

① 「飼い主のいない猫を増やさないための注意」等、市民に周知できるように「お知らせ」を作成し、全戸配布や地域の掲示板に貼り出してはどうか。

② ボランティアの方々に活動費の助成を行うことで、不妊・去勢手術費の軽減を図ってはどうか。

**健康福祉部長**  
① 保存版チラシは、庁内で印刷したものを各町内会・自治会を通じての配布が考えられる。各町内会・自治

他に交通弱者対策について質問した。

**企画政策部長**  
① 市が保有する建築物では1.1%であるが、10年後には18%、20年後には49%となる。また15m以上の橋梁では、35基のうち3基であるが、10年後に10基、20年後には28基に達する。

② 維持・更新等にかかる費用は。

③ アセットマネジメントの導入の考えはあるか。

② 平成22年度決算における普通会計の貸借対照表では、土地を除く有形固定資産の取得価格が121.8億円である。それに対し、減価償却累計額は54.3億円で45%となっており、施設の更新にかかる今後の財政負担が大きいことが分かる。

**他に省エネ推進と再生可能エネルギーの活用について質問した。**  
\*公共施設のアセットマネジメント：施設や設備を資産としてとらえ、その損傷等を将来に渡り予測し効果的な維持管理を行う方法。



建設から46年が経つ小和田橋

増崎 俊宏  
議員

## 50年以上経過した社会資本は

20年後には49%となる

**問** 社会資本の老朽化対策について

首都直下地震等の発生が懸念される今、戦後の高度経済成長期に急速に整備された道路や橋、下水道、公共施設といった社会資本の老朽化が深刻な問題になっている。社会資本は災害時に住民の生命・財産を守る機能もあり、防災・減災の観点から計画的な維持管理等が重要と考え、以下伺う。

① 建設後50年以上が経過する社会資本の割合と今後の推移は。



## 平成新山（通称）の処分費は

### 9500万円と試算



御堂中西側の平成新山（通称）

**問** 普通財産について  
 ① 普通財産の管理・処分  
 の状況は。  
 ② 景観と防犯の観点から  
 早急に残土撤去が望まれて  
 いる御堂中学校西側雑種地、  
 平成新山（通称）の今後の  
 管理・処分計画を以下何う。  
 ア・整地された後、貸付  
 も含めどのような計画が  
 考えられるか。

イ. 売却する場合、一坪単  
 価と見込める総額は。  
 ウ. 売却した後の固定資  
 産税はどれくらい見込め  
 るか。  
 エ. 現在の土砂量と搬出  
 処理費は。  
 オ. 今後の管理・処分計  
 画は。

**総務部長**

① 平成23年度は、売却1  
 件、払い下げが8件で、合  
 計3100万円の売り払い  
 収入があり、貸付収入は、  
 43件で合計が6700万円  
 となった。  
 ②ア. 市街化調整区域のた  
 め建物は制約があるので、  
 駐車場、資材置場等の貸

**他に生活保護について質  
 問した。**

付が考えられる。  
 イ. 一坪当たり7万70  
 00円程度、総額で1億  
 7000万円になると思  
 われる。  
 ウ. 81万8000円程度  
 を試算して見込んでいる。  
 エ. 残土2万立方メートル  
 の処分費は、およそ9  
 500万円と試算してい  
 る。  
 オ. 有効利用を図るため、  
 土砂の搬出が必要である  
 ことから、今後も公共事  
 業等への土砂提供に努め  
 ていく。



## オスプレイ飛来訓練の情報要求は

国の動向に注視する

**問** 横田基地米軍機の騒音  
 対策とオスプレイ飛来につ  
 いて

① 市は、市民からの声と  
 して横田基地米軍機の騒音  
 問題を横田防衛事務所に伝  
 えたことだが、騒音に  
 対する苦情は何件来ている  
 か。

② 市の代表である市長が  
 抗議すべきと思うがどうか。  
 ③ 市が騒音測定器を設置  
 し測定すべきと思うがどう  
 か。

④ 東京都ではどのように  
 騒音測定を行っているか。  
 ⑤ 防衛省は、オスプレイ  
 の配備が横田基地も例外で  
 はないと認めている。市と  
 してオスプレイ飛来や米軍  
 訓練の情報提供を求めると  
 共に、横田基地への飛来訓  
 練を行わないよう申し入れ  
 をすべきと思うがどうか。

**企画政策部長**

① 平成22年度が3件、23  
 年度が22件、24年度では16  
 件寄せられている。



市内を飛ぶ米軍機（C-130）

**市長**

② 本市は横田基地周辺の  
 協議会に入っておらず、基  
 地の問題は協議会を通して  
 働きかけたい。

**企画政策部長**

③ 市長会で東京都に対す  
 る予算要望をあげており、  
 市単独で騒音測定を行うこ

とは考えていない。  
 ④ 屋城小、前田小等で測  
 定が行われ、評価指標の基  
 準値は上回っていない。  
 ⑤ 市としては、国に対し  
 申し入れを行う考えはなく、  
 引き続き国の動向に注視し  
 ていく。

戸沢 弘征 議員  
いきいきセンターの冬季再開は  
再開すれば800万円必要



公園でウォーキング

問 いきいき元気な高齢者の施策充実について  
平均寿命の推計は男79・6歳、女86・4歳、介護等  
を必要としない自立した生活ができる健康寿命は男70・4歳、女73・6歳である。  
平均寿命と健康寿命との差

は医療費や介護給付費を増やすことになる。健康寿命を伸ばすには、いきいきセンターの冬季運営を再開し、地域活動である「地域いきいき元気づくり事業」に活用すべきである。介護保険の要支援1、2及び健康な

お年寄りを家庭で一人ぼっちにしない各種施策を充実させ、元気な高齢者を増やすことを求めるが、市の見解を伺う。

企画政策部長

多摩26市で本市だけが屋内プールを3施設以上有し、個人利用者も減少傾向にあったため、冬季の運営休止と時間の短縮を実施した。復活すれば、約800万円の費用が必要となり、当面は現行の運営を続けたい。

健康福祉部長

地域いきいき元気づくり事業は、健康づくり市民推進委員などの協力を得て、健康チェックや体操等を行っている。今後は医師会の協力も得ながら、医師からの講話など地域医療との連携により事業の充実を図っていききたい。また、外出しづらい高齢者に対しては、介護ボランティア・チャケット制度を検討するなどして支援していききたい。

いじめ対策は  
未然防止に向けた取り組みを推進  
合川 哲夫 議員

問 いじめ問題について

平成23年10月に滋賀県大津市で中学生のいじめによると思われる自殺事件が発生した。これに対し、大津市教育委員会の対応が、厳しい批判を受けている。そこで伺う。

- ① 事件報道後、本市教育委員会ではどの様な対応をしたか。



あきる野市教育基本計画

- ② いじめ撲滅三原則(するを許さず、されるを責めず、いじめに第三者なし)の実践的な取り組み内容は。
- ③ スクールカウンセラーの配置は基本計画に沿って進んでいるか。
- ④ いじめ相談員の設置はどうなっているか。

指導担当部長

① 全校でアンケートを実施し調査結果に基づき、いじめ等の問題行動の解決や未然防止に向けた取り組みを推進している。

- ② 三原則を各教室に掲示し、児童生徒が常に意識するよう働きかけ、いじめは絶対許されないことを学級活動や道徳の時間などで、指導している。
- ③ 市立中学校全校及び小学校4校に配置されている。
- ④ 各校1名以上の教員をいじめ問題担当者として指名し、生活指導部や教育相談部と連携し、組織的に対応している。また、教育相談所に臨床心理士を教育相談員として配置している。

たばたあずみ  
議員

## 学童クラブ指導員の増員は

増員の考えはない

問 学童クラブの内容充実について

- ① 長期休業中などに独自の行事を行えないか。
- ② 指導員を増員する考え

は。

- ③ 学童クラブの普段の様子を保護者に知らせる工夫を行っているか。
- ④ 指導員の午前中の勤務を保障するなどして、お便りを発行する体制を作れないか。



学童クラブの活動

子育て担当部長

- ① 現在、独自行事として日常的に読み聞かせや切り絵等を、季節行事として誕生会やカレーパーティー、もちつき等を実施している他、児童館での行事に学童クラブの児童も参加している。館外活動を実施している館もあるが、児童数の多いクラブでは安全のため指導員の増員が必要になる。
- ② 増員の考えはない。
- ③ 保護者との連絡帳で行っており、お便りのようなものは発行していない。
- ④ 今後、各館の市職員と指導員によって、今の体制で、可能な範囲での実施を考えている。

他に小中学校へのエアコン設置、過疎地域への対策について質問した。

## 「いのち」を学ぶアサガオの効果は 命の大切さを考える機会になる

村木 英幸  
議員



アサガオ

問 「いのち」を学ぶ教育について

- ① 毎年初夏に、秋多中学校から「いのち」を学ぶアサガオの鉢をいただくが、その経緯と秋多中が行う「いのち」を学ぶ教育とその効果について問う。
- ② 平成24年度から、中学校での新しい学習指導要領が全面实施され、生命に對

する畏敬の念や、心身の成長発達や健康についての理解を深めることが一層重視されたことから、臓器移植をテーマとした「いのちの教育」を実施する中学校があると聞くが、本市教育委員会の見解を問う。

指導担当部長

- ① 長い闘病の末、平成6年に亡くなった教諭の机から見つかった12粒の種がきっかけである。生徒が種に込められた思いに触れ、命の大切さについて改めて考えたり、行動を振り返ったりする機会になっている。

- ② 各学校が児童・生徒や、その家族、地域の実態に応じて臓器移植について考える機会を設定することは意義がある。どう扱うかは各学校の状況によるが、理科で人間の臓器の働きを十分理解し、保健体育科で発展的な学習をして段階的に取り上げていくことが重要と考える。

他に福祉について質問した。